



ウ イ ー ン の 情 熱
Piano Quartet
Ensemble RARO

2026.11.26 [Thu.]
7:00 p.m.
TOPPAN HALL

ピアノ四重奏団
アンサンブル・ラロ
with 川田知子

Razvan Popovici
Alexander Sitkovsky

〔会場〕

TOPPANホール

(東京都文京区水道1丁目3-3)

2026年11月26日 [木] 19:00開演 [18:30開場]

〔演奏曲目〕

エネスク 〓 ピアノ四重奏曲《ノクターン》
ドヴォルザーク 〓 ピアノ四重奏曲 第2番 変ホ長調 作品87
ブラームス 〓 ピアノ五重奏曲 ヘ短調 作品34

Piano Quartet Ensemble RARO

室内楽の豊かな伝統と、革新的なアプローチの統合を目指すピアノ四重奏団

エネスク:ピアノ四重奏曲《ノクターン》 ドヴォルザーク:ピアノ四重奏曲 第2番 変ホ長調 作品87 ブラームス:ピアノ五重奏曲 ヘ短調 作品34
George Enescu: Piano Quartet "Nocturne" Antonín Dvořák: Piano Quartet No.2 in E-flat major, op. 87 Johannes Brahms: Quintet in F minor, Op. 34



Violin
Alexander
Sitkovetsky

アレクサンダー・シトコヴェツキー
(ヴァイオリン)

ロシア・モスクワ出身。8歳でソロ・デビューし、ユーディ・メニューインに見出される。同年メニューイン音楽院に迎えられ、氏と度々共演した。現在ソリストとして世界各地のオーケストラからオファーが絶えない。室内楽の演奏活動にも積極的で、2011年にシトコヴェツキー・ピアノ・トリオを結成し、同年「プレミオ・トリオ・ディ・トリエステ国際室内楽コンクール」(伊)優勝。2014年にBISレコードからトリオのデビューアルバムがリリースされた。リンカーン・センター(米)のプログラム“Chamber Music Society Two”やユリア・フィッシャーのプロジェクトなどに参加するほか、榎本大進が芸術監督を務める赤穂国際音楽祭ル・ポンにも度々出演。マンチェスターの王立ノーザン音楽大学、ロンドン・ロイヤルアカデミーの教授を経て、現在米国テキサス州ダラスのメドウズ芸術学校教授。チューリッヒ芸術大学でも教鞭を取る。2023-2024年シーズンよりポーランドのNFMレオポディウムオーケストラの芸術監督も務める。米国在住。

Piano
Diana
Ketler

ダイアナ・ケトラー
(ピアノ)

ラトヴィア・リガ出身。11歳でラトヴィア国立交響楽団(ヴァシリー・シナイスキー指揮)との共演でソロ・デビューを果たす。モーツァルテウム音楽院、ロンドン・ロイヤルアカデミーを最優秀で卒業し、2003年には同アカデミー最高名誉賞を受賞。2004年よりキームガウ音楽祭(独)の芸術監督を務めるほか、榎本大進、川島成道ら日本人演奏家との共演も多く、2007年に遠藤真理とCD録音(エイベックス)も行っている。2008年にはラトヴィア政府から功績を称えられて表彰を受ける。ロンドン・ロイヤルアカデミー、デュッセルドルフ・ロベルトシューマン・音楽院の教授を経て、現在ジュネーブ州立高等音楽院、及びロンドン・ロイヤル・カレッジ・オブ・ミュージックの教授を勤める。各地でマスタークラスを開催し、指導者としての評価も高い。ロンドン在住。

Violin
Razvan
Popovici

ラズヴァン・ポポヴィッチ
(ヴィオラ)

ルーマニア・ブカレスト出身。モーツァルテウム音楽院、パリ音楽院、フライブルク音楽大学を最優秀で卒業。シャンゼリゼ劇場(仏)、ケルン・フィルハーモニー(独)、バーデン・バーデン祝祭劇場(独)にソリストとして、また数々のヨーロッパのオーケストラに客演首席奏者として出演。近年は質の高い室内楽の普及に取り組み、2004年よりキームガウ音楽祭(独)の総合監督、2006年よりブカレスト「SoNoRo」音楽祭の芸術監督を務める。コンサートのプロデュース能力やマスタークラスでの指導力にも優れ、世界各地の多くの音楽家たちから篤い信頼を得ている。2023年よりアントワープ王立音楽院教授を勤める。ルーマニア・ブカレスト在住。

Cello
Bernhard Naoki
Hedenborg

ヘーデンボルク・直樹
(チェロ)

オーストリア・ザルツブルク出身。12歳でモーツァルテウム管弦楽団との共演でソロ・デビュー。13歳からハインリッヒ・シフの下で研鑽を積む。1993年「若い音楽家のための国際チェロコンクール」(伊)優勝、1995年「第2回若い音楽家のためのチャイコフスキー国際コンクール」(仙台)銀メダル等。2003年バイエルン放送室内管弦楽団とのハイドンのチェロ協奏曲でウィーン楽友協会大ホールにデビュー。2007年にはアイゼナハ歌劇場(独)のソリスト・イン・レジデンスを務め、音楽総監督の阪哲朗(現:滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール芸術監督)と共に演奏を行った。ウィーン・トーンキュンスラー管弦楽団首席チェロ奏者を経て、2011年にウィーン国立歌劇場管弦楽団に入団、2014年よりウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の正団員となる。2006年より2018年まで神戸国際芸術祭の音楽顧問を12年間務めた。2017年からは兄・和樹、弟・洋とヘーデンボルク・トリオを結成し、サントリー・チェンバーミュージック・ガーデン等、定期的に日本でも演奏活動を行なっている。また近年は元日にNHKで放映されるウィーンフィル・ニューイヤー・コンサートの解説を度々務めている。ウィーン在住。

ピアノ四重奏団 アンサンブル・ラロ

アレクサンダー・シトコヴェツキー(Vn)、ダイアナ・ケトラー(Pf)、ラズヴァン・ポポヴィッチ(Va)、ヘーデンボルク・直樹(Vc)の4人で2004年に結成。ヨーロッパ各地の音楽祭を中心に活躍して大成功を収め、'21年にカーネギーホールにも招聘され、高い評価を得ています。本公演では中欧から東欧の近代の作曲家3人の作品を通して、民族性と精神性、形式美を兼ね備えた室内楽の魅力を紹介します。多様な出自の演奏家たちで表現する深い構築性と詩的な響きと創造の可能性にご期待ください。

photo: Katsuhiko Ichikawa

チケット料金 | 一般▶6,000円/会員(TOPPANホールクラブ会員)▶5,400円/学生(25歳以下)▶3,000円

プレイガイド情報 | ■TOPPANホールチケットセンター || 03-5840-2222 (10:00~18:00/土日祝休)
■オンラインチケット購入 || www.toppanhall.com

*団体割引:10名以上から。ご希望の方は主催者へご連絡ください。
連絡先:info@ensemblararo.jpもしくはensemble.raro@gmail.com

有志の方のご寄付により、学生(25歳以下)の方にチケット料金を全額キャッシュバック致します(要申込・先着50名)。詳細はこちら▶▶▶▶▶▶



主催:井原麗奈(企画・制作)
共催:有限責任事業組合アンサンブル・ラロ、ジャパン

■未就学児の入場はご遠慮ください。■出演者、曲目等は都合により変更になる場合がございます。それによる払い戻しはいたしませんのであらかじめご了承ください。■学生券で入場される際は、証明書のご提示をお願いする場合がございます。■お支払い後のキャンセルや座席の変更はお受けできません。

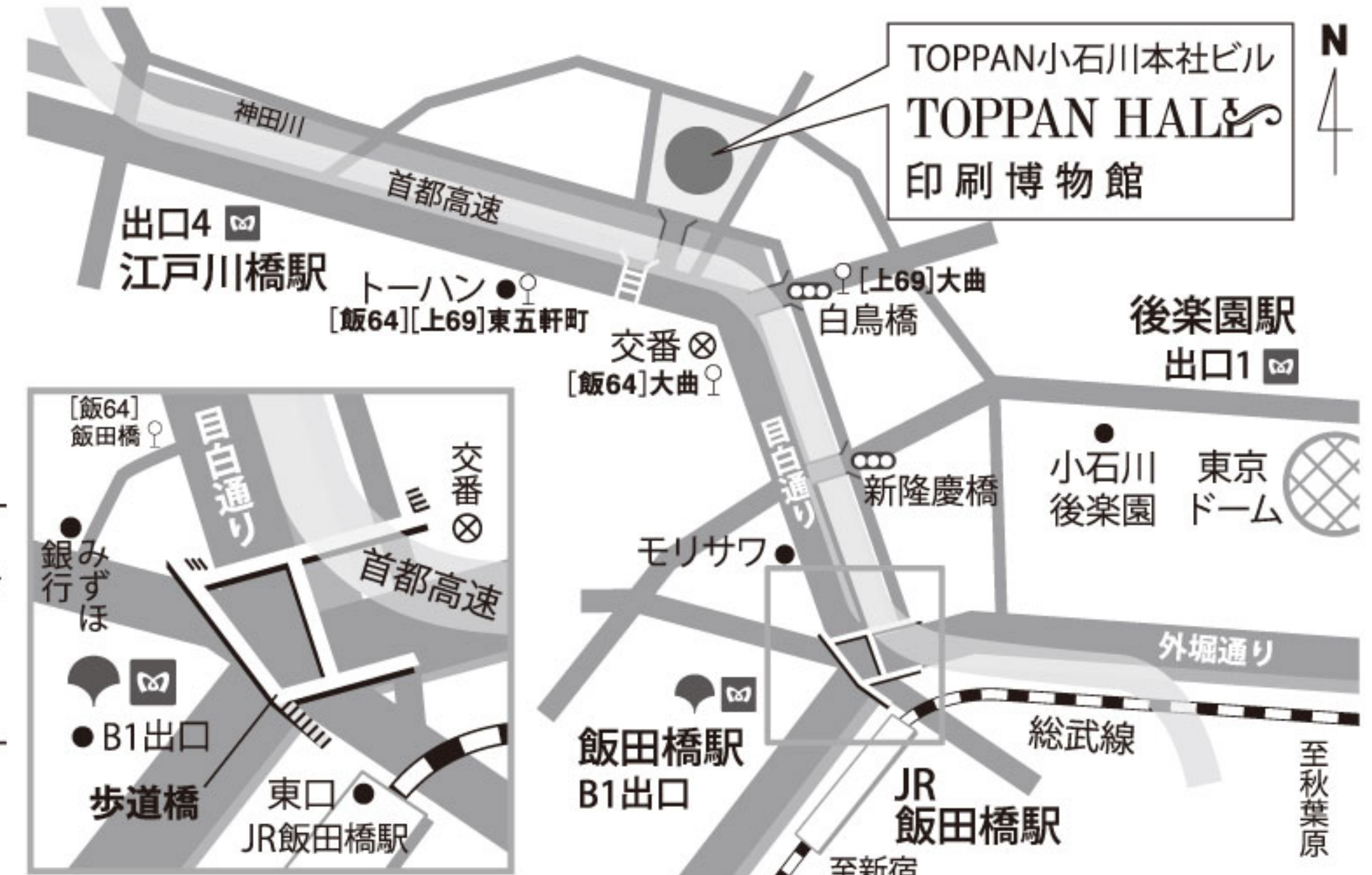
交通のご案内

江戸川橋駅 地下鉄有楽町線(4番出口)より徒歩約8分
飯田橋駅 JR総武線(東口)、地下鉄有楽町線、東西線、南北線、大江戸線(B1出口)より徒歩約13分
後楽園駅 地下鉄丸の内線、南北線(1番出口)より徒歩約10分
都営バス [上69][飯64][大曲]または「東五軒町」下車徒歩約3分
※地下駐車場をご利用いただけます。(ホールご来場者割引あり)

TOPPANホール

〒112-0005 東京都文京区水道1-3-3 Tel:03-5840-2200
www.toppanhall.com

京都公演 2026年
11月27日(金) 19時開演
会場: 京都コンサートホール
アンサンブルホールムラタ
詳細→www.ensemblararo.jp



JR飯田橋駅東口歩道橋付近拡大図